

目的とねらい

漢字の成り立ちから始まり、さまざまな要素を学んでいきたいと思います。今年度は漢字の基礎を学んだ後に「成り立ちとつながり」に焦点を当て、部首とは別のパーツを共通した漢字をグループで学びます。

「形・音・義(意味)」が互いに密接な関係をもつ「漢字マンガラ」の世界を探って行こうと思います。テキストは2025年度と同じものを使用しますが、テキストを基礎にさらなる展開をしていきます。

会場

平安女子中学校高等学校

定員

50名

受講料

11,000円

テキスト(1,100円)

『白川静先生から学ぶ 成り立ちとつながりでわかる

漢字ノート』(平凡社)

(お持ちでない方には初回会場にて販売します。)



責任講師

久保 裕之(漢字教育士)

立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所(文化事業担当)

日程

全8回 第1土曜日

14:00~16:00

(日程等は一部変更になる場合があります)

①	漢字の歴史と基本 「古代文字練習シート」を書きながら、漢字の起源と文字の形の移り変わりを学びます。また漢字の三要素と呼ばれる「形・音・義」について学びます。	4/4 (土)
②	成り立ちとつながりで学ぶ漢字① 人体編 「鬼・異・魂」(人の死後)「共・具・兵」(両手の形)「止・歩・企」(足の形)など、全身や体のパーツからできた漢字を学びます。	5/2 (土)
③	成り立ちとつながりで学ぶ漢字② 自然編 「水・永・派」(水の流れ)「暮・墓・漠」(草原に沈む太陽)「虹・風・空」(空に風を起こす竜)など、自然の様子や自然に対する考え方からできた漢字を学びます。	6/6 (土)
④	成り立ちとつながりで学ぶ漢字③ 祈り編 「祭・察・際」(神へのお供え)「令・命・鈴」(神の言葉を伺う)「至・室・屋」(葬儀の様子)など、神や祖先に対する信仰からできた漢字を学びます。	7/4 (土)
⑤	成り立ちとつながりで学ぶ漢字④ 人事編 「系・係・孫」(人のつながり)「年・委・季」(実りへの感謝の祭)「責・積・績」(納税のしるし)など、人の営みからできた漢字を学びます。	9/5 (土)
⑥	成り立ちとつながりで学ぶ漢字⑤ 植物編 「生・世・葉」(植物の生長)「由・油・宙」(ひょうたんの実)「倍・剖・賠」(熟して割れた果実)など、植物からできた漢字を学びます。	10/3 (土)
⑦	成り立ちとつながりで学ぶ漢字⑥ 動物編 「集・雇・焦」(トリ)「突・戻・臭」(イヌ)「羊・善・祥」(ヒツジ)など、動物の体やその習性からできた漢字を学びます。	11/7 (土)
⑧	成り立ちとつながりで学ぶ漢字⑦ もの編 「基・旗・期」(ちりとり)「書・画・筆」(ふで)「兆・跳・挑」(亀のこうら)など、道具からできた漢字を学びます。	12/5 (土)